



本が好きな子に育てたい



松本 一二美 議員

読書の預金「読書通帳」の取組みを

松前町ふるさとライブラリーで実施する

問

『本が好きな子に育てたい』

意欲的に読書に取り組み、読書の預金をする「読書通帳」を、小学校・中学校で、読書通帳を作ることを提案する。読書通帳は、人生でどのくらい本を読んだのかを記録でき、心の取組みを伺う。

財産になる。

子どもたち一人ひとりが、読書の預金をする「読書通帳」を、学校・ふるさとライブラリーで実施する考えは、あわせて、学校図書室における司書の配置・取組みを伺う。

学校教育課長

ふるさとライブラリーで、手書きタイプの読書通帳を実施する。司書教諭は、町内各小・中学校に配置し、資料の選択、収集や読書活動の指導、運営、活用について中心的な役割を担っている。

認知症の早期発見の対策と推進を

認知症の予防事業に力を入れている

問

認知症による徘徊が社会問題化している。当町も、高齢化・認知症・介護の問題が直近の課題だ。軽度認知症(MCI)の発見と早期治療のための効果的なプログラムがある。(端末は一台約80万円)

認知症予防教室の普及促進に機器導入の考えと、認知症対策推進を問う。

保健福祉部長

タッチパネル機器は、予防研究のための機器で、町として導入の考えはない。

松前町ホームページに認知症検査サイトを掲載する考えは、

今年度からは、高齢者を対象に脳元気アップ教室を随時実施していく。

認知症検査サイトは、勝手な自己判断を招く恐れから掲載の考えはない。